

2021年11月9日

各位

会社名 ブティックス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 新村 祐三
 (コード番号 9272 マザーズ)
 問合せ先 常務取締役管理本部管掌 速水 健史
 (TEL 03-6303-9431)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

ブティックス株式会社（東京都港区、代表取締役社長 新村祐三 以下「当社」といいます）は、2021年5月11日「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました2022年3月期通期業績予想を修正することとしたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正理由

当社は、前回の業績予想策定時において、新型コロナウイルス感染症の影響につきまして、ワクチン接種の開始等により徐々に快方へと向かうものの、一定の影響は残るものと見込んでおりました。このような中、商談型展示会事業においては、当第2四半期累計期間の大半が緊急事態宣言下であったため、出展を自粛する企業が発生したことに加え、新規営業が大幅に制限されたことにより、出展小間契約の獲得に遅れが生じております。一方、M & A 仲介事業においては、感染症の影響は見られず、前事業年度からの教育体制の整備、仕組化が奏功し、中途採用のコンサルタントが想定より早期に戦力化したため、今後も業績が順調に推移する見込みです。

また、当社は新型コロナウイルス感染症を契機に大きく変容していく社会・ビジネス環境に対応するため、2021年3月期より人材採用・システム投資を柱とした先行投資を実施しております。人材採用が計画どおり進捗している一方で、オフィス内の「三密」を回避するため、予定（2022年4月）より前倒して、10月にオフィスの増床を実施いたしました。これに伴い、家賃負担等の費用が増加するものの、M & A 仲介事業の増益により吸収できる見込みです。

以上により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益につきまして、前回業績予想を上回る見込みです。

なお、社内での損益管理方法の変更に伴い全社費用の配賦方法を変更しており、2021年3月期のセグメント情報は、2022年3月期の報告セグメントに基づき作成しております。

2. 業績予想

①2022年3月期の売上高・営業利益の予想（先行投資前と先行投資後）

| | 売上高 | 営業利益① 先行投資等 控除前 | 先行投資 | 株式報酬費用 | 営業利益② 先行投資等 控除後 |
|--------------|-------|--------------------|------|--------|--------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年3月期 見通し | 1,716 | 411 | △152 | △58 | 201 |
| 2021年3月期 実績 | 1,277 | — | — | — | 281 |
| 増減率 (%) | 34.3 | — | — | — | △28.4 |

②2022年3月期通期業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 1,633 | 111 | 111 | 71 | 14.24 |
| 今回発表予想 (B) | 1,716 | 201 | 201 | 128 | 25.61 |
| 増減額 (B-A) | 82 | 90 | 90 | 57 | |
| 増減率 (%) | 5.0 | 81.0 | 81.0 | 81.0 | |
| (ご参考) 前期実績 (2021年3月期) | 1,277 | 281 | 292 | 198 | 39.79 |

(注) 当社は、2021年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり当期純利益」については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、当該株式分割後の発行株式数（自己株式を除く）により算出しております。

3. セグメントごとの見通し

セグメントごとの見通しは以下のとおりです。

(1) 商談型展示会事業

商談型展示会事業においては、今後も「CareTEX」及び「CareTEX One」の開催エリアの拡大及び出展規模の拡大を図っていく計画であります。当事業年度においては、5月に新たに北海道で開催の札幌展をはじめ、全国7エリアでの開催を予定しております。当社は、前回の業績予想策定時において、新型コロナウイルス感染症の影響が残ることから、出展小間契約の回復は感染症拡大前の90%程度に留まることを見込んでおりました。しかしながら、当第2四半期累計期間の大半が緊急事態宣言下であったため、出展を自粛する企業が発生したことに加え、新規営業が大幅に制限されたことにより、出展小間契約の獲得に遅れが生じております。これにより、売上高が前回業績予想を下回る見込みです。

以上により、2022年3月期通期の商談型展示会事業の業績は、出展小間契約は1,262小間（前事業年度比6.5%増、前回発表予想比21.1%減）、売上高670百万円（前事業年度比2.1%増、前回発表予想比24.3%減）、セグメント利益94百万円（前事業年度比45.2%減、前回発表予想比52.9%減）を見込んでおります。

なお、当社は業績予想を策定する上で、ワクチン接種の開始等により新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に快方へと向かい、万一、緊急事態宣言が発出された場合でも、展示会の開催ができることを前提としております。このため、前事業年度以上に新型コロナウイルス感染症の状況が悪化し、政府や自治体等の要請により、展示会の開催ができなくなった場合、業績に影響を与える可能性があります。

(2) ハイブリッド展示会事業

ハイブリッド展示会事業は、オンライン展とリアル展をシームレスに融合させ、双方の強みを活かした、新発想のハイブリッド展示会である「DXPO」の開催・運営を行います。オンライン展の開設期間中（365日24時間）に並行してリアル展を年2回開催し、リアル展の会期前1ヵ月及び会期後2ヵ月は、オンライン展でも集中的にマッチングすることで、商談の量と質を高めつつ、かつ年間を通じて継続的なマッチングの機会を提供する新サービスです。7月より営業活動を開始し、順調に進捗しております。

また、当事業年度においては、ハイブリッド展示会を活用した新分野への横展開を「注力事業」と位置付け、人件費・採用費・販売促進費として68百万円の先行投資を実施しております。

前回発表予想時にはリアル展の開催を2022年5月に予定し、先行して一部オンライン展の売上を14百万円計上する見込みでしたが、リアル展の開催を2022年8月としたことにより当事業年度の売上は発生しない見込みとなりました。これに伴い、売上原価・販売費及び一般管理費も発生しないため、当事業年度の業績に与える影響は軽微です。

(3) M & A 仲介事業

M & A 仲介事業においては、2022年3月期において、自社開発した「M & A 工程管理システム」を本格導入し、厳格な工程管理を行うことで、コンサルタント個人の経験や能力に依存しがちなM & Aの工程を「定型化」「可視化」し、コンサルタントを大量に採用した場合でも、案件進捗の確実性とスピードを担保することが可能となったことから、引き続き、コンサルタントを大幅に増員（2021年3月期末のコンサルタント数18名に対し、当事業年度は31名に増員の予定）し、案件の成約数増加に注力しております。このため、人件費・採用費として84百万円の先行投資を実施しております。

なお、2021年3月期下半期及び当事業年度に採用したコンサルタントについて、教育研修及び案件成約までの期間として入社から約8ヵ月を要するため、これらコンサルタントの売上への寄与は、当事業年度においては一部に留まり、2023年3月期に本格化する見込みでした。しかしながら、採用したコンサルタントが想定よりも早く戦力化したこと及び大型案件の成約により、前回の業績予想策定時と比較し、大幅な増収増益を達成する見込みです。

以上により、2022年3月期通期のM & A 仲介事業の業績は、成約組数は109件（前事業年度比28.2%増、前回発表予想比6.9%増）、売上高1,045百万円（前事業年度比72.9%増、前回発表予想比42.5%増）、セグメント利益543百万円（前事業年度比54.2%増、前回発表予想比83.5%増）を見込んでおります。

なお、当社は業績予想を策定する上で、ワクチン接種の開始等により新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に快方へと向かい、万一、緊急事態宣言が発出された場合でも、訪問・面談等ができることを前提としております。このため、前事業年度以上に新型コロナウイルス感染症の状況が悪化し、政府や自治体等の要請により、訪問・面談等ができなくなった場合、業績に影響を与える可能性があります。

以上の結果、2022年3月期通期の業績の見通しは、商談型展示会事業が前回の業績予想策定時と比較して減収減益となるものの、M & A 仲介事業が大幅な増収増益を見込むため、売上高1,716百万円（前事業年度比34.3%増、前回発表予想比5.0%増）、先行投資実施前・株式報酬費用（*）控除前の営業利益は411百万円（前事業年度比46.4%増、前回発表予想比28.0%増）、先行投資として人件費・採用費・販売促進費を152百万円、株式報酬費用（*）として58百万円を計上することから、これら費用を控除した営業利益は201百万円（前事業年度比28.4%減、前回発表予想比81.0%増）、経常利益201百万円（前事業年度比31.0%減、前回発表予想比81.0%増）、当期純利益128百万円（前事業年度比35.1%減、前回発表予想比81.0%増）を見込んでおります。

（*）新株予約権の発行に伴う会計上の費用計上額

（注）上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。そのため、実際の業績は上記の予想とは異なる場合があります。

《本リリースに関するお問合せ》

ブティックス株式会社 管理本部 IR 担当

TEL : 03-6303-9431（平日 9時～18時） Email : ir@btix.jp

以上